

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年5月13日
【四半期会計期間】	第152期第1四半期（自平成25年1月1日至平成25年3月31日）
【会社名】	佐渡汽船株式会社
【英訳名】	Sado Steam Ship Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小川 健
【本店の所在の場所】	新潟県佐渡市両津湊353番地
【電話番号】	(0259) 27 - 5174
【事務連絡者氏名】	総務課長 野田 悟
【最寄りの連絡場所】	新潟市中央区万代島9番1号
【電話番号】	(025) 245 - 2366
【事務連絡者氏名】	経理課長 渡辺 大輔
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第151期 第1四半期連結 累計期間	第152期 第1四半期連結 累計期間	第151期
会計期間	自平成24年1月1日 至平成24年3月31日	自平成25年1月1日 至平成25年3月31日	自平成24年1月1日 至平成24年12月31日
売上高 (千円)	1,867,240	1,816,036	11,712,350
経常利益又は経常損失 () (千円)	798,741	830,466	415,663
四半期純損失 () 又は当期 純利益 (千円)	771,401	830,364	366,799
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	783,710	850,765	391,263
純資産額 (千円)	1,569,324	1,923,416	2,802,774
総資産額 (千円)	11,612,426	11,453,816	11,441,314
1株当たり四半期純損失 () 又は1株当たり当期純 利益 (円)	55.55	59.64	26.36
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益 (円)	-	-	26.15
自己資本比率 (%)	10.8	13.4	20.9

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、第151期第1四半期連結累計期間及び第152期第1四半期連結累計期間は潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営上の重要な契約等」の内容のとおりであります。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する欧州債務危機問題による海外景気の減速や日中関係の悪化等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。一方、平成24年12月の政権交代後における、いわゆるアベノミクスや日銀の金融緩和に伴う円安や株高の進行により、景気回復への期待感が高まっております。

当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間は冬型の気圧配置による強い寒気の影響を受け、海上が荒れた天気になることが多く、欠航が相次いだことによる輸送量の減少に加え、急激な円安進行による原油の輸入価格高騰に伴う燃料費の増加により、業績は前年同期を下回る結果となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,816,036千円（前年同期比2.7%減）、営業損失は813,671千円（前年同期は774,751千円の営業損失）、経常損失は830,466千円（前年同期は798,741千円の経常損失）、四半期純損失は830,364千円（前年同期は771,401千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、季節の変動が顕著であります。

海運

当第1四半期連結累計期間の旅客輸送人員は222,130人（前年同期比1.2%減）、自動車輸送台数は乗用車換算で37,742台（前年同期比4.8%減）、貨物輸送トン数は27,414トン（前年同期比4.6%増）となりました。

輸送実績は、荒天による欠航が相次いだため、旅客、航送部門について前年同期を下回りました。一方、貨物部門については佐渡産米輸送の増加や、佐渡島内での総合体育館建設工事に伴う資材輸送の発生により増加となりました。また、原油の輸入価格の上昇に伴い船舶燃料費が前年同期を大きく上回りました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,157,690千円（前年同期比4.2%減）、セグメント損失（営業損失）は705,119千円（前年同期は688,309千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

一般貨物自動車運送

佐渡産米の輸送について、前年同期は輸送ルートが変更されたことにより減少しておりましたが、当第1四半期連結累計期間は営業努力により、これが回復傾向にあることから売上高は微増となりました。一方、原油の輸入価格の上昇に伴い燃料費が増加したため、セグメント損失（営業損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は389,255千円（前年同期比1.7%増）、セグメント損失（営業損失）は20,856千円（前年同期は20,675千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

売店・飲食

当第1四半期連結累計期間は、当セグメントに前連結会計年度の期末日をみなし取得日として連結範囲に含めた、小木観光(株)の業績が加わりましたが、佐渡汽船商事(株)において、両津港ターミナルで行われている耐震改修工事に伴い、同箇所における食堂の休業を余儀なくされていることもあり売上高は減少しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は181,917千円（前年同期比8.2%減）、セグメント損失（営業損失）は43,728千円（前年同期は28,587千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

観光

荒天による欠航が相次いだこともあり、個人客を中心とした観光客やビジネス客が大きく減少したため、売上高は減少しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は40,208千円（前年同期比14.4%減）、セグメント損失（営業損失）は51,380千円（前年同期は40,716千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

その他

当第1四半期連結累計期間は、不動産賃貸業の両津南埠頭ビル(株)が、前連結会計年度の第4四半期に両津港南埠頭駐車場管理(株)を吸収合併したことにより業績が前年同期を上回っております。また、建物サービス業において、施設管理収入が好調に推移したこともあり、売上高は大幅に増加しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は46,966千円（前年同期比50.6%増）、セグメント利益（営業利益）は672千円（前年同期は4,785千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

記載すべき事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年5月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	13,969,402	14,275,450	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	13,969,402	14,275,450	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年1月1日～ 平成25年3月31日	-	13,969,402	-	805,797	-	643,654

(注) 平成25年4月1日から平成25年4月30日までの間に、日本海内航汽船株式会社の吸収合併に伴う新株発行(合併比率 当社1:日本海内航汽船株4)により発行済株式総数が306,048株、資本金及び資本準備金がそれぞれ37,337千円増加しております。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 17,200	-	-
	（相互保有株式） 普通株式 43,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 13,902,100	139,021	-
単元未満株式	普通株式 6,702	-	-
発行済株式総数	13,969,402	-	-
総株主の議決権	-	139,021	-

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 （株）	他人名義 所有株式数 （株）	所有株式数 の合計 （株）	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合（％）
（自己保有株式） 佐渡汽船株式会社	新潟県佐渡市両津湊 353番地	17,200	-	17,200	0.12
（相互保有株式） 佐渡汽船運輸株式会社	新潟県佐渡市吾潟 183番地1	27,400	-	27,400	0.19
佐渡汽船観光株式会社	新潟市中央区万代島 9番1号	3,000	-	3,000	0.02
株式会社佐渡西三川ゴールドパーク	新潟県佐渡市西三川835番 地1	13,000	-	13,000	0.09
計	-	60,600	-	60,600	0.43

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「海運企業財務諸表準則」（昭和29年運輸省告示第431号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,867,240	1,816,036
売上原価	2,376,705	2,380,872
売上総損失()	509,465	564,836
販売費及び一般管理費	265,286	248,835
営業損失()	774,751	813,671
営業外収益		
固定資産賃貸料	19,008	19,224
受取利息	169	146
受取配当金	255	478
その他	14,396	10,966
営業外収益合計	33,828	30,814
営業外費用		
支払利息	48,444	39,284
固定資産賃貸費用	5,182	4,650
その他	4,192	3,675
営業外費用合計	57,818	47,609
経常損失()	798,741	830,466
特別利益		
固定資産売却益	7,192	4,514
その他	375	-
特別利益合計	7,567	4,514
特別損失		
固定資産除却損	268	1,133
その他	3	-
特別損失合計	271	1,133
税金等調整前四半期純損失()	791,444	827,085
法人税、住民税及び事業税	2,178	3,214
法人税等調整額	7,735	24,784
法人税等合計	5,557	27,998
少数株主損益調整前四半期純損失()	785,887	855,083
少数株主利益又は少数株主損失()	14,486	24,719
四半期純損失()	771,401	830,364

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	785,887	855,083
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,177	4,318
その他の包括利益合計	2,177	4,318
四半期包括利益	783,710	850,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	769,558	826,154
少数株主に係る四半期包括利益	14,152	24,611

(2)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,865,803	1,842,074
受取手形及び売掛金	² 600,715	² 522,783
たな卸資産	605,107	632,305
繰延税金資産	72,223	46,660
その他	209,808	239,534
貸倒引当金	4,903	7,817
流動資産合計	3,348,753	3,275,539
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	1,186,439	1,183,486
建物(純額)	3,394,116	3,346,279
土地	1,917,804	1,917,804
その他(純額)	821,081	915,525
有形固定資産合計	7,319,441	7,363,094
無形固定資産		
のれん	48,410	39,213
その他	290,617	296,898
無形固定資産合計	339,027	336,111
投資その他の資産		
投資有価証券	159,096	165,258
長期前払費用	209,674	227,453
繰延税金資産	479	547
その他	61,526	62,792
貸倒引当金	25	25
投資その他の資産合計	430,750	456,025
固定資産合計	8,089,218	8,155,230
繰延資産		
社債発行費	3,343	23,047
繰延資産合計	3,343	23,047
資産合計	11,441,314	11,453,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,999	571,140
短期借入金	484,000	524,000
1年内返済予定の長期借入金	2,150,316	1,970,825
未払法人税等	13,936	3,826
賞与引当金	37,889	152,031
その他	749,311	820,743
流動負債合計	3,791,451	4,042,565
固定負債		
社債	250,000	852,000
長期借入金	3,603,185	3,631,465
退職給付引当金	699,200	697,508
役員退職慰労引当金	35,210	37,713
特別修繕引当金	80,020	92,899
負ののれん	16,095	12,509
資産除去債務	36,010	36,151
その他	127,369	127,590
固定負債合計	4,847,089	5,487,835
負債合計	8,638,540	9,530,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,797	805,797
資本剰余金	643,654	643,654
利益剰余金	976,448	116,939
自己株式	51,398	51,398
株主資本合計	2,374,501	1,514,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,795	16,005
その他の包括利益累計額合計	11,795	16,005
新株予約権	29,194	32,220
少数株主持分	387,284	360,199
純資産合計	2,802,774	1,923,416
負債純資産合計	11,441,314	11,453,816

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

当社グループの売上高は、事業の性質上、第3四半期に集中する傾向があり、季節的変動が顕著であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
受取手形裏書譲渡高	7,991千円	5,487千円

2 四半期末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休業日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
受取手形	771千円	413千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
減価償却費	160,005千円	167,283千円
のれんの償却額	10,888	9,197
負ののれんの償却額	4,943	3,586

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月27日 定時株主総会	普通株式	20,928	1.5	平成24年12月31日	平成25年3月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,208,109	382,916	198,061	46,959	1,836,045	31,195	1,867,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,125	81,874	5,391	155,875	249,265	39,999	289,264
計	1,214,234	464,790	203,452	202,834	2,085,310	71,194	2,156,504
セグメント損失()	688,309	20,675	28,587	40,716	778,287	4,785	783,072

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
 の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	778,287
「その他」の区分の利益	4,785
セグメント間取引消去	8,321
四半期連結損益計算書の営業損失	774,751

当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,157,690	389,255	181,917	40,208	1,769,070	46,966	1,816,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	497	77,837	5,263	101,544	185,141	40,761	225,902
計	1,158,187	467,092	187,180	141,752	1,954,211	87,727	2,041,938
セグメント利益又は 損失()	705,119	20,856	43,728	51,380	821,083	672	820,411

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
 の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	821,083
「その他」の区分の利益	672
セグメント間取引消去	6,740
四半期連結損益計算書の営業損失	813,671

(企業結合等関係)
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり四半期純損失金額	55円55銭	59円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	771,401	830,364
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	771,401	830,364
普通株式の期中平均株式数(株)	13,887,345	13,922,094

(注) 前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年5月13日

佐渡汽船株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 真一郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 五十嵐 朗 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井口 誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている佐渡汽船株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結貸借対照表及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、佐渡汽船株式会社及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。